



## 大田市場で多種多様な熊本県産青果物をPR 熊本県知事等によるトップセールスが開催！

### 熊本県知事等による青果物トップセールス

- 期日：11月1日(木)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：熊本県・JA熊本中央会
- 内容：熊本県産青果物の試食宣伝やPR等

### ■ 熊本県知事や県下13JA等がPR！

熊本県知事とJA熊本中央会会長をはじめ県下13JA(熊本市・たまな・鹿本・菊池・阿蘇・かみましき・熊本うき・やつしろ・あしきた・くま・本渡五和・あまくさ・れいほく)の関係者が来場して「青果物トップセールス」を開催しました。トップセールス会場はこの時期の熊本県産青果物一色で彩られ、トマト・なす・きゅうり・ブロッコリー等の野菜やみかん・メロン・柿等の果実を合わせて16品目が各種くまモン販促グッズとともに展示されました。

熊本県のH29年都中央野菜入荷量はトマトに占める割合が53%(5年前からの増加率119%)と最も多く、次いでミニトマト17%(同増加率145%)、ながなす6%(同増加率116%)、ブロッコリー4%(同増加率1750%)と上位4品目は大幅な増加傾向を示しています。

### ■ 様々な熊本県産青果物の試食大好評！

今年の熊本県の青果物生育状況は、夏場の高温で植え傷みや生育不良等が散見されましたが被害程度は低く、生育は概ね順調とのことです。台風被害も少なく、10月下旬から早生みかんは平年を大幅に上回る入荷があり、トマトやブロッコリーも増加傾向で推移しています。また、1月からはデコポン(熊本県果実農業協同組合連合会の登録商標で、品種名「不知火」のうち糖度13度・クエン酸1%以下等の基準をクリアしたもの)や熊本県育成いちご品種「ゆうべに」の入荷量が多くなり、大田市場は野菜・果樹ともに熊本県産青果物で賑わってきます。

トップセールス当日は、ミニトマトスープやミニトマト・メロン・みかん・柿の試食が提供されました。産地関係者や熊本県のゆるキャラ「くまモン」が試食宣伝を行い、市場関係者に熊本県産青果物の豊富さや食味の良さをPRしました。

熊本県知事から、熊本県は全国でも有数の青果物生産地であり県が自信をもってオススメできる品質であることをPRしました。さらに、熊本地震で全国の方から多大なるご支援をいただいたことへの感謝やこれからの熊本県産青果物のいっそうのご愛顧についてお願いがありました。



熊本県産青果物の展示



試食宣伝



「くまモン」も熊本県産青果物をPR



熊本県知事等によるあいさつ